

事業番号	15 05 11	事業改善シート (28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	未来を担う科学技術人材育成事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
						課・局・室	教学指導課	
総合5か年計画	プロジェクト		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp				
	施策の総合的展開		実施期間		H28 ~			
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針							
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	「ものづくり長野」・「イノベーション長野」を支え、けん引する科学技術人材を育成することで世界をリードする科学技術人材を育てる長野県「科学の長野」のイメージ定着を目指す。												
現状 (予算編成時)	明日の長野県を担う子どもたちが、未来を切り拓く力を身に付け、希望する進路を実現できるようにするため、「こどもの未来支援積立金」を活用し、広く貧困等の困難を抱える子どもたちを支援する。												
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】										
	県民との協働による実施： 検討中		「科学の長野」のイメージ定着を図るためには、県が全国大会の誘致・開催や児童生徒に対して、築き上げた基礎力に加え、視野拡大・興味喚起、卓越性を伸長するための取組を継続して行っていく必要がある。										
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)												
	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数30チームを目指す。 ・科学オリンピック参加者数100人を目指す。 												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求) (予算案)							
	科学の甲子園ジュニア (全国大会) 誘致・継続開催	直接	全国の中学生在が都道府県を代表して科学の思考力・技能を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」の長野県での10年連続開催を目指す。		3,973 3,973								
	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	高等学校等が実施する産学連携による実験、実習等の体験的・課題解決的な学習活動や、海外研修等を支援		21,558 13,632								
	科学オリンピック養成講座	直接	中高生を対象に、「科学オリンピック」や「科学の甲子園ジュニア」など科学分野の各種全国大会・国際大会に向けた実力養成講座等を実施		4,469 4,469								
			合計	0	30,000 22,074								
事業コスト	区分 (単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末 (見込)	H28		H29 目標	
		当初予算			30,000	22,074				目標	成果		達成状況
		補正予算					「科学の甲子園ジュニア」全国大会プレ大会参加チーム数	-	-	30チーム			
		合計 (A)	0	0	30,000	22,074	科学オリンピック参加者数	-	-	100人			
	Aの財源	一般財源											
		県債											
		国庫支出金											
		その他 (繰入金)	0	0	30,000	22,074							
	決算額 (B)												
概算人件費	職員数 (人)			2.00	2.00								
	概算人件費 (C)	0	0	16,516	16,516								
概算事業費 (B(A)+C)		0	0	46,516	38,590								
指摘事項等への対応		(指摘事項等)			(対応)								
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点		(サイエンス・アソシエーション・プロジェクト) 事業全体の要求替えにより減額											